

メイクセラピー検定の内容と評価項目

級	3級	2級	1級	特級	
試験方式	筆記試験(マークシート方式)	筆記試験(マークシート方式+記述式) / 実技試験		筆記試験(記述式) 実技試験	
試験時間	60分	90分 (筆記60分+実技30分)	90分 (筆記50分+実技40分)	80分 (筆記30分+実技50分)	
筆記試験内容	1・2・3級共通 範囲・項目		1級 メイクセラピーでのカウンセリング に関する事例問題(対話分析)	特級 マークシート式なし	
	心理関連：化粧心理学・メイクセラピーの心理学 コミュニケーション：人間関係論 色彩関連：色彩心理学・色彩学・パーソナルカラー概論 メイクアップ関連：皮膚学・スキンケア概論・メイク理論 カウンセリング関連：カウンセリング概論				
	記述式	3級 記述式なし	メイクセラピーでのカウンセリングおよび施す技法に関する事例問題 ・メイクセラピストの基本姿勢、クライアントとのかかわり方、具体的な技法を問う		
出題範囲	「メイクセラピー入門(3級対策)」 に準拠	「メイクセラピー検定2級対策」 に準拠	「メイクセラピー入門(3級対策)」 「メイクセラピー検定2級対策」 「メイクセラピー検定1級対策」 に準拠	「メイクセラピー入門(3級対策)」 「メイクセラピー検定2級対策」 「メイクセラピー検定1級対策」 「特級認定講座」内容に準拠	
実技試験内容	注意事項	・2級・1級・特級とも、モデル(クライアント役)はベースメイク(ファンデーション)のみをした状態で開始する ・メイクは着席、対面して行う			
	出題方式	「オーダー」(当日発表)の印象になるようにモデル(クライアント役)の半顔にメイクを施す。 2級オーダー例「落ち着いていて仕事ができる女性」 1級オーダー例「職場の後輩から『困っているときに、さりげなく声をかけてくださる気遣いに憧れる』と言われる優しい印象の女性(職業:看護師)」		モデルをクライアントに見立てオーダーカウンセリングをし、半顔メイクを施す メイクセラピー手法における「オーダーカウンセリング」「メイクアップ(半顔)」までを実施する	
	評価項目	マナー関連評価項目(特級・1級・2級共通)			
		・セラピスト【受験者】の印象管理(服装・メイク・身だしなみ全般がメイクセラピストとしてふさわしいか) ・クライアントとのコミュニケーション(適切なコミュニケーションが取れているか) ・表情、話し方、姿勢(温かみのある表情か、座り方、言葉使い)			
メイク関連 評価項目(特級・1級・2級共通、ただし上級になるほど高い完成度を要する)					
レベル	メイクセラピーの概要が理解できる	関連業界のセカンドライセンスとして活用できる	関連業界でメイクセラピーを活用できる	プロのメイクセラピストとして活躍できる	
称号	認定メイクセラピーガイド	認定メイクセラピーアドバイザー	認定メイクセラピープロデューサー	認定メイクセラピスト	
受験資格	2・3級制限なし		2級合格	1級合格 「特級認定講座」受講、 活動報告書提出	
合格基準	80%以上の得点	筆記・マナー・メイクそれぞれ 80%以上の得点	筆記・ マナー・メイク・カウンセリング それぞれ80%以上の得点	筆記70%以上、 マナー・メイク・カウンセリング それぞれ80%以上の得点	
受験会場	在宅 (自宅に送付、受験後解答の返送)	筆記(在宅) 実技会場 6月(東京・名古屋・大阪) 11月(札幌・仙台・東京・名古屋・大 阪・福岡)※各自モデル用意	東京・大阪 ※各自モデル用意	東京 ※各自モデル用意	
再受験制度	なし	あり(実技または筆記、次回開催 に限り免除・割引)	あり(実技または筆記、次回開催 に限り免除・割引)	なし	
受験料 (税込)	5,400円	8,640円 再受験5,400円(筆記または実技)	10,800円 再受験7,020円(筆記または実技)	12,960円 「特級認定講座」受講料57,040円	